

10BASE-T LANカード
LPC3-CLT
ユーザズマニュアル

ご使用になる前に	1
本製品の取り付け	2
WindowsMe/98/95 環境での設定	3
Windows2000 環境での設定	4
困ったときは	5
用語集	6
仕様	7

このたびは、LPC3-CLT をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、LPC3-CLT の取り扱いかたと、ドライバのインストール手順について説明しています。LANカードを正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。WindowsNT4.0/CE にドライバをインストールする場合は、添付の「LPC3-CLT Driver Disk」内の「WINNT40.TXT」「WINCE.TXT」を参照してください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

文中のマーク / 用語表記

注意マーク

 **注意** 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

 **メモ** 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

 **参照** 関連のある項目のページを記しています。

次へマーク

 **次へ** 次にこのページへ進めばよいかを記しています。

コラムマーク



このマークがついている説明文は、知っていると便利な知識について説明しています。

- ・ 文中 [] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- ・ 文中 『 』 で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。







パソコンの故障 / トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障 / トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例:  感電注意)
	に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例:  分解禁止)
	は、しなければならない行為を示す記号です。の近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例:  電源プラグをコンセントから抜く)

警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。



電源プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

注意



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。



強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 故障、修理などのとき
- ・ パソコンの電源 OFF 直後に、すぐに電源を入れたとき
- ・ 長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らず、バックアップの作成を怠ったためにデータを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- ・一般OA機器より高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときをご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っていません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証していません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 ご使用になる前に 6

本製品の概要	6
パッケージ内容・各部の名称とはたらき	7
セットアップの流れ	8

2 本製品の取り付け 9

ドライブ構成の確認	9
PC カードドライブの確認	10
PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合	12
本製品の取り付け	13

3 WindowsMe/98/95 環境での設定 . 16

ドライブのインストール	16
インストール後の確認	30
CATV/xDSL でインターネット接続する場合	31
パソコン同士で通信する場合の設定例	31
他のパソコンとの接続	39
本製品の取り外し	41

4 Windows2000 環境での設定 43

ドライブのインストール手順	43
インストール後の確認	46
ドライブの削除	47
本製品の取り外し	48

5 困ったときは 49

6 用語集 60

7 仕様 65

仕様	65
--------------	----

1

ご使用になる前に

本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明します。
必ずお読みください。

本製品の概要

本製品の特長、動作環境について説明します。

特長

本製品は、PC カードスロット (TYPE) を装備したパソコンに取り付けて使用する LAN カードです。

主な特長は、次の通りです。

- 10BASE-T (IEEE802.3) 規格準拠
- RJ-45 モジュラコネクタ用ポート装備 (1 ポート)

動作環境

対応機種


PC カードスロット (TYPE) を装備したノートパソコン。

NEC 製 PC-9821Ne、PC-9801NX/C、NS/A、NL/R、P および EPSON 製 98 互換機には対応しておりません。

対応 OS

- WindowsMe/98/95/2000
- WindowsNT4.0
- WindowsCE2.0
- WindowsCE H/PC Pro3.0(WindowsCE2.11)
- Microsoft Windows for Handheld PC 2000(WindowsCE3.0)
- Microsoft Windows Powered Pocket PC(WindowsCE3.0)

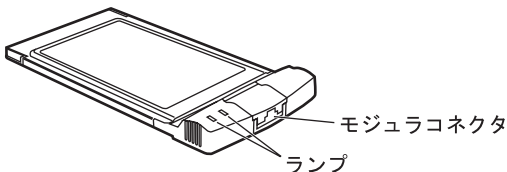
WindowsMe/98/2000 の ACPI 機能には、対応しておりません。

 **メモ** 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>) を参照してください。

パッケージ内容・各部の名称とはたらき

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

LAN カード (ケース付き) 1 個



名称	はたらき
ACT ランプ	ネットワークにデータが流れているときに点灯します。他のパソコン同士の通信時も点灯します。
LINK ランプ	リンク時点灯します。

LPC3-CLT Driver Disk 1 枚

ユーザーズマニュアル (本書) 1 冊

ユーザー登録はがき、保証書 1 枚

メモ

- ・ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入のうえ、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
- ・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

添付ディスクのバックアップ

安全のために、製品に添付されている「LPC3-CLT Driver Disk」は、必ずバックアップを作成し、実際の作業はバックアップしたディスクを使用するようにしてください。

1

ご使用になる前に

セットアップの流れ

本製品をネットワークに接続する手順を説明します。全体の流れを理解してください。

セットアップの前に本書をよくお読みください

1 パッケージの内容を確認する ページ7

2 ユーザー登録カードを送付する

3 本製品をパソコンに取り付ける ページ9

4 LAN ケーブルを接続する ページ13

5 環境に合わせてドライバをインストールする

WindowsMe/98/95 ページ16

Windows2000 ページ43

WindowsNT4.0

「LPC3-CLT Driver Disk」内の「WINNT40.TXT」を参照してください。

WindowsCE

「LPC3-CLT Driver Disk」内の「WINCE.TXT」を参照してください。

設定がうまくできないときは「困ったときは」を参照 ページ49

セットアップ終了

2

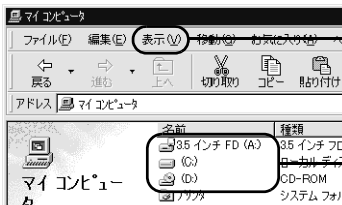
本製品の取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順を説明します。

ドライブ構成の確認

本製品を取り付ける前に、パソコンのドライブ構成を次の手順で確認してください。WindowsMeを例に説明します。

- 1 [マイ コンピュータ] をダブルクリックします。
- 2 [表示]- [詳細] を選択します。



1 選択

2 確認

ここで表示されるドライブ名を確認します。表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

2

本製品の取り付け

お使いのパソコンのドライブ構成は？

ドライブの種類	アイコン	ドライブ名(例)
3.5 インチフロッピーディスク		(A:)
ハードディスク(ローカルディスク)		(C:)
CD-ROM		(D:)

次へ

WindowsMe/98/95/2000 の場合：「PC カードドライバの確認」(P10) へ進みます。
WindowsNT4.0/CE の場合：「本製品の取り付け」(P13) へ進みます。

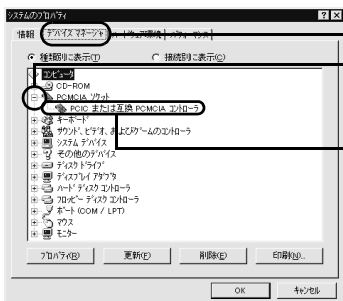
PC カードドライバの確認

パソコンの PC カードドライバが正常に動作していることを、必ず確認してください。PC カードドライバの確認手順は OS により異なります。以下の該当する項目を参照してください。

WindowsMe/98/95:「WindowsMe/98/95 の場合」(下記)を参照してください。
Windows2000:「Windows2000 の場合」(P11)を参照してください。

WindowsMe/98/95 の場合

- 1 デスクトップの[マイ コンピュータ]を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ]を選択します。
- 3 [デバイス マネージャ]をクリックし、[PCMCIA ソケット]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いていないこと確認します。



1 クリック
2 クリック
3 確認

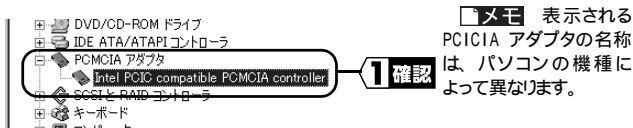
表示される PCMCIA コントローラの名前は、パソコンの機種によって異なります。

次へ

- ・ [PCMCIA ソケット]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いている場合は、パソコンのマニュアルを参照して [PCMCIA アダプタ]を有効にしてください。
- ・ [PCMCIA ソケット]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いていない場合は、「本製品の取り付け」(P13)へ進みます。
- ・ PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合は、「PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合」(P12)へ進みます。

Windows2000 の場合

- 1 デスクトップの[マイ コンピュータ]を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [管理]を選択します。
- 3 [デバイスマネージャ]をクリックします。
- 4 [デバイス マネージャ]をクリックし、[PCMCIA アダプタ]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いていないこと確認します。




次へ

- ・ [PCMCIA アダプタ]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いている場合は、パソコンのマニュアルを参照して [PCMCIA アダプタ] を有効にしてください。
- ・ [PCMCIA アダプタ]の下に表示されるアイコンに「！」や「×」が付いていない場合は、「本製品の取り付け」(P13) へ進みます。
- ・ PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合は、「PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合」(P12) へ進みます。

NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いの場合

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」をアドバンスモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、アドバンスモードに変更してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

CyberTrio-NX とは

パソコンを使う人ごとに、WindowsMe/98/95 の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

- ### 次へ
- 「PC カードドライバの確認」(P10) へ進みます。

PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合


PC カードスロットが1つしかないパソコンで、PC カード接続のフロッピードライブを使用している場合は、フロッピードライブと本製品を同時に使用できません。そのため、ドライバをインストールする前に次の作業を行う必要があります。

パソコンにフロッピードライブを取り付けます。

フロッピードライブに「LPC3-CLT Driver Disk」を挿入します。

すべてのファイルが表示されるように、フォルダオプションを設定します（第5章困ったときは「インストール画面が表示されない、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に！マークがついている」の手順7～9(P50)を参照）。

「LPC3-CLT Driver Disk」の中にあるすべてのファイル（フォルダ）を、ハードディスクに新規作成したフォルダの中にコピーします。インストール中に「LPC3-CLT Driver Disk」を要求されたときは、上記の手順でファイルをコピーしたフォルダを指定してください。

 **次へ** 「本製品の取り付け」(P13)へ進みます。

本製品の取り付け

パソコンによって本製品の取り付け位置が異なります。必ずパソコンのマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けを行ってください。また、ネットワークを確実に動作させるためには、適切なケーブルを正しく接続する必要があります。ここでは、本製品、パソコン、ケーブルの接続方法を例に説明します。ストレートケーブルは別売品です。

ケーブル接続時の注意

本製品は、ストレートケーブルとハブを使用して接続することを推奨します。

本製品を取り外すときの注意

WindowsMe/98/95/2000/CE 搭載のパソコンでは、電源が ON の状態で本製品の抜き差しができます（活線挿抜対応）。ただし、本製品を取り外すときは、Windows 上で取り外しができる状態にする必要があります。本製品を取り外すときは、以下を参照してください。

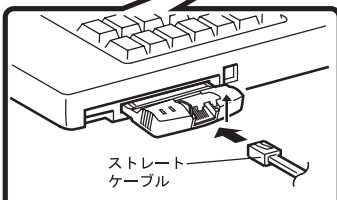
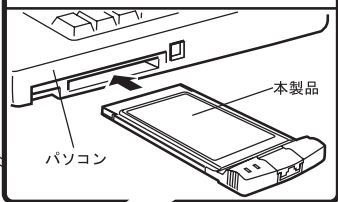
- WindowsMe/98/95 の場合：「本製品の取り外し」（P41）を参照してください。
- Windows2000 の場合：「本製品の取り外し」（P48）を参照してください。
- WindowsCE の場合：本製品を取り外すときに、Windows 上で必要な操作はありません。

2

本製品の取り付け



- 1** パソコンに本製品を取り付けます。
本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。取り付け方法については、パソコン添付のマニュアルを参照してください。



- 2** 本製品のモジュラコネクタを開き、ストレートケーブルを差し込みます。
「カチッ」と音がするまで、確実に差し込みます。

メモ

WindowsMe/98/95/2000/CEをお使いの方は、パソコンの電源がONの状態では本製品を取り付けることができます。

注意

ケーブルを付けたまま、パソコンを移動させないように注意してください。

PC カードスロットを2つ搭載したパソコンをお使いの場合

本製品は、コネクタ部分が突き出ています。

そのため、PC カードスロットを2つ搭載したパソコンで、下側の PC カードスロットに本製品を装着すると、上側の PC カードスロットに他の PC カードを装着できなくなることがあります。

そのときは、本製品を上側の PC カードスロットに装着してください。



WindowsMe/98/95をお使いの方は

「WindowsMe/98/95 環境での設定」(P16)へ進みます。

Windows2000をお使いの方は

「Windows2000 環境での設定」(P43)へ進みます。

WindowsNT4.0をお使いの方は

「LPC3-CLT Driver Disk」内の「WINNT40.TXT」ファイルを参照してください。

WindowsCEをお使いの方は

「LPC3-CLT Driver Disk」内の「WINCE.TXT」ファイルを参照してください。

3

WindowsMe/98/95 環境での設定

ご使用の環境が WindowsMe/98/95 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定を行ってください。

ドライバのインストール

△注意

- ・ドライバのインストールを行う前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・パソコンの電源が OFF になっているときは、電源を ON にしてください。

ドライバのインストールは以下を参照して行ってください。

- ・「WindowsMe の場合」(下記)
- ・「Windows98 の場合」(P18)
- ・「Windows95 の場合」(P21)

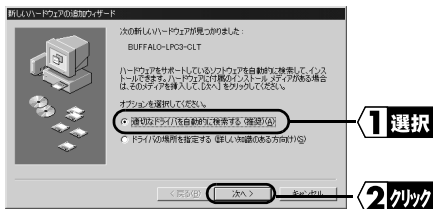
WindowsMe の場合

1 パソコンに本製品が正しく取り付けられると、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が起動します。

△注意 ウィザードが起動しないときは、「第5章 困ったときは」の「インストール画面が表示されない、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に!マークがついている」(P50)を参照してください。を参照してください。

2 「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

- 3 [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択して、[次へ]をクリックします。



- 4 [完了]をクリックします。



- 5 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブから取り出し、[はい]をクリックします。
パソコンが再起動します。
- 6 次の画面が表示されたら、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします(表示されないこともありますが、問題ありません)。



ドライバのインストールは完了です。
続いて、本製品が正常に動作していることを確認します。

- ▼次へ 「インストール後の確認」(P30)へ進みます。

Windows98 の場合

- 1 パソコンに本製品が正しく取り付けられると、次の画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。



△注意 画面が表示されないときは、第 5 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない」、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に!マークがついている(P50)を参照してください。

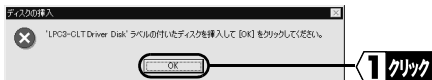
- 2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。
- 4 「フロッピー ディスク ドライブ」を選択し、[次へ] をクリックします。



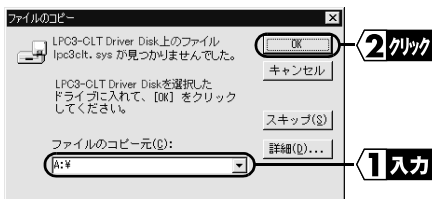
- 5 [次へ] をクリックします。



- ▶ 「'LPC3-CLT Driver Disk' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の操作を行ってください。
[OK] をクリックします。



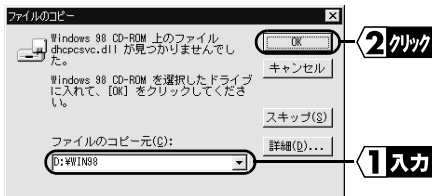
「lpc3clt.sys が見つかりませんでした」と表示されたら、「ファイルのコピー元」に「A:¥」（フロッピードライブが A ドライブの場合）と入力し、[OK] をクリックします。



- ▶ 「'Windows98 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の操作を行ってください。
Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[OK] をクリックします。



「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）と入力し、[OK] をクリックします。



☑メモ PC-9821 シリーズを使用している場合は、「Q:¥WIN98N」（CD-ROM ドライブが Q ドライブの場合）と入力してください。

次頁へ続く

6 [完了]をクリックします。



7 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブから取り出し、[はい]をクリックします。 パソコンが再起動します。

8 次の画面が表示されたら、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします(表示されないこともありますが、問題ありません)。



ドライバのインストールは完了です。
続いて、本製品が正常に動作していることを確認します。

次へ 「インストール後の確認」(P30)へ進みます。

Windows95 の場合

Windows95 のバージョンにより表示される画面が異なります。

Windows95 が起動したときに表示される画面に従ってください。

▲注意 画面が表示されないときは、第5章 困ったときはの「インストール画面が表示されない」、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に!マークがついている」(P50)を参照してください。

『デバイスドライバウィザード』画面が表示された場合

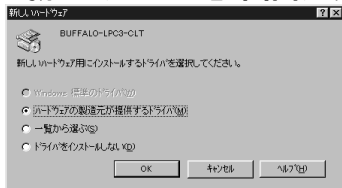


Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 B 4.00.950 C

▲次へ ドライバのインストールの「『デバイスドライバウィザード』画面の場合 (Windows95 のバージョンが4.00.950 B/4.00.950 C)」(P22)へ進みます。

『新しいハードウェア』画面が表示された場合



Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 4.00.950a

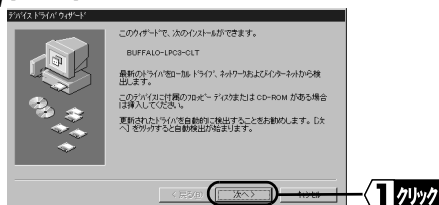
▲次へ ドライバのインストールの「『新しいハードウェア』画面の場合 (Windows95 のバージョンが4.00.950/4.00.950a)」(P26)へ進みます。

『デバイスドライバ Wizard』画面の場合

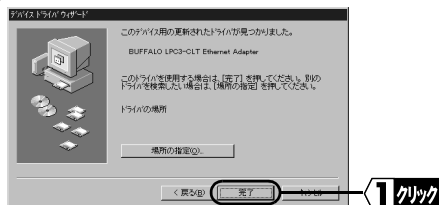
(Windows95 のバージョンが 4.00.950 B/4.00.950 C)

1 「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

2 [次へ] をクリックします。



3 [完了] をクリックします。

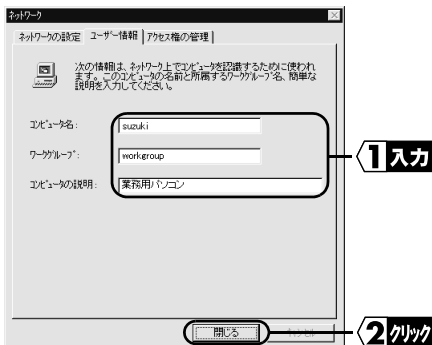


▶ 「デバイスドライバ Wizard」画面で [完了] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。

[OK] をクリックします。



[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を入力し、
[閉じる] をクリックします。



△注意 [コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。一部の漢字やピリオド (.) などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。

■メモ

- [コンピュータ名] は、ネットワーク上に同じ名前のパソコンがないように設定してください。
- [ワークグループ] は、ネットワーク管理者に相談の上、設定してください。どのような名前を設定したらよいかわからない場合は、ネットワークに接続するすべてのパソコンに同じ名前を設定してください。
- また、英字の大文字と小文字は違う文字として区別されます。
- [コンピュータの説明] は、必要に応じて入力してください。何も入力しなくても問題ありません。

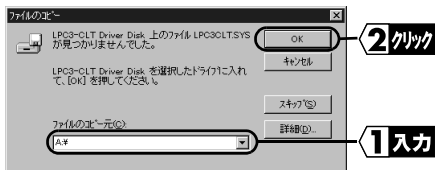
▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明] の詳細説明については、第 6 章 用語集の「 WindowsMe/98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面」(P63) を参照してください。

次頁へ続く

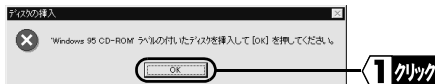
- ▶ 「'LPC3-CLT Driver Disk' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってください。
[OK] をクリックします。



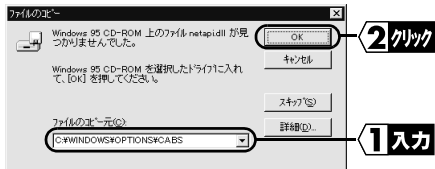
「LPC3CLT.SYS が見つかりませんでした」と表示されますので、「ファイルの北'-元」に表示されている文字列を「A:¥」（フロッピードライブが A ドライブの場合）に変更し、[OK] をクリックします。



- ▶ 「'Windows95 CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順を行ってから、手順4に進んでください。
[OK] をクリックします。



「ファイルの北'-元」に表示されている文字列を「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」（Windows95 が C ドライブにインストールされている場合）に変更し、[OK] をクリックします。



☛メモ PC-9821 シリーズをお使いのかたは、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」（Windows95 が A ドライブにインストールされている場合）と入力し、[OK] をクリックします。

4 ファイルのコピーが行われます。

メモ ファイルのコピー途中に「ファイルのバージョン競合」画面が数回表示される場合があります。そのときは、「現在のファイルをそのまま使いますか?」と尋ねてきますので、「はい」をクリックしてください。

5 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、フロッピーディスクをパソコンから取り出し、[はい]をクリックします。

パソコンが再起動します。

6 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバ から IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

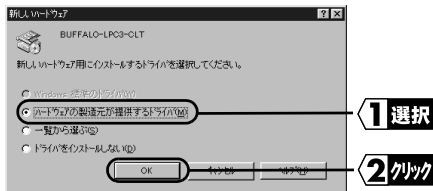
- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P30) へ進みます。

『新しいハードウェア』画面の場合

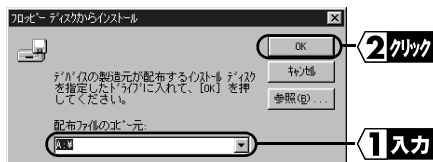
(Windows95 のバージョンが 4.00.950/4.00.950a)

- 1 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ] を選択し、[OK] をクリックします。



- 2 「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

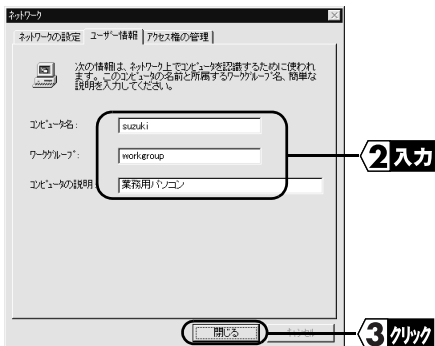
- 3 「A:¥」(フロッピードライブが Aドライブの場合) を入力し、[OK] をクリックします。



- ▶ 「フロッピーディスクからインストール」画面で [OK] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。
[OK] をクリックします。



[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を入力し、
[閉じる] をクリックします。



▲注意 [コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。一部の漢字やピリオド (.) などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できない場合があります。

■メモ

- [コンピュータ名] は、ネットワーク上に同じ名前のパソコンがないように設定してください。
- [ワークグループ] は、ネットワーク管理者に相談の上、設定してください。どのような名前を設定したらよいかわからない場合は、ネットワークに接続するすべてのパソコンに同じ名前を設定してください。
- また、英字の大文字と小文字は違う文字として区別されます。
- [コンピュータの説明] は、必要に応じて入力してください。何も入力しなくても問題ありません。

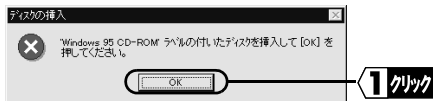
▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明] の詳細説明については、第 6 章 用語集の「 WindowsMe/98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面」(P63) を参照してください。

次頁へ続く

4 Windows95 の CD-ROM または フロッピー ディスク を挿入するよう に、メッセージ が表示 されます。

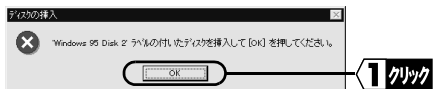
CD-ROM の場合:

Windows95 の CD-ROM を CD-ROM ドライブ に挿入 し、[OK] をクリック します。



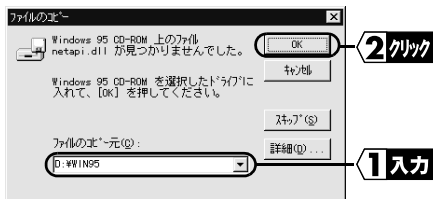
フロッピー ディスク の場合:

指定 された フロッピー ディスク を フロッピー ドライブ に挿入 し、[OK] をクリック します。



メモ 画面の指示に従って、フロッピーディスクを挿入してください。

5 [ファイルの元] に表示 されている 文字列 を「D:¥WIN95」(CD-ROM ドライブ が D ドライブ の場合) に変更 し、[OK] をクリック します。



メモ プリインストールモデルで、CD-ROM ドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合は、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」(Windows95 が CD ドライブ にインストール されている場合) を入力 してください。

6 ファイル のコピー が行われ ます。

メモ ファイル のコピー 途中 に「ファイル のバージョン 競合」画面 が数回 表示 される 場合 があ ります。その ときは、「現在 のファイル をその まま使 いますか？」と尋ね てき ますので、「はい」を クリック して ください。

7 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブから取り出し、[はい] をクリックします。
パソコンが再起動します。

8 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。
続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバ から IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

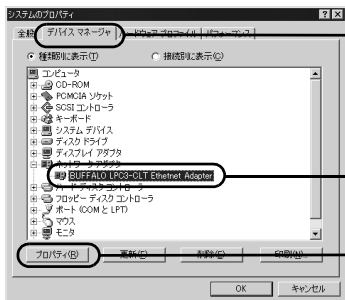
- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P30) へ進みます。

インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、次の手順に従って、本製品が正常に動作していることを確認してください。

- 1 デスクトップの[マイ コンピュータ]を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ]をクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ]をクリックし、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」のアイコンに「×」や「！」が付いていないか確認します。



メモ

- 表示されていないときは、「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックすると表示されます。
- 「その他のデバイス」に、「PCMCIA カードサービス」が入る場合がありますが、正常です。

次へ

- 「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」のアイコンに×や！が付いていない場合は、「CATV/xDSL でインターネット接続する場合」(P31) または「パソコン同士で通信する場合の設定例」(P31) へ進みます。
- 「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」のアイコンに×や！が付いている場合は、「インストール画面が表示されない、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に！マークがついている」(P50) へ進みます。

CATV/xDSL でインターネット接続する場合

「インストール後の確認」(P30) をしたら、インターネットに接続するための準備をします。具体的な設定方法は、各プロバイダにお問い合わせください。

パソコン同士で通信する場合の設定例

「インストール後の確認」(P30) をしたら、パソコン同士で通信するための準備をします。ここでは例として、次の環境での設定方法を説明します。ネットワークに接続するパソコンの設定をするときの参考にしてください。

- OS WindowsMe
- プロトコル TCP/IP
- クライアント ... Microsoft ネットワーククライアント
- サービス Microsoft ネットワーク共有サービス

▶参照 詳しくは、Windows に添付のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

Microsoft ネットワーククライアント、TCP/IP の確認

- 1 [マイ ネットワーク] (Windows98/95 の場合は [ネットワーク コンピュータ]) をマウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ] を選択します。

次頁へ続く

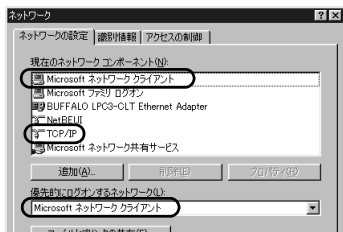
3 [ネットワークの設定] 画面の [現在のネットワークコンポーネント] に、「Microsoft ネットワーク クライアント」と「TCP/IP」が表示されていることを確認します。

また、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーク クライアント」と表示されていることを確認します。「Microsoft ネットワーク クライアント」と表示されていない場合は、▼をクリックして「Microsoft ネットワーク クライアント」を選択します。

⚠注意 表示されていないとき

「Microsoft ネットワーククライアントの追加方法」(P37)、「TCP/IP の追加方法」(P38)を参照して、Microsoft ネットワーククライアント、TCP/IP を追加してください。

組み込まれているネットワークアダプタ () が本製品だけの場合



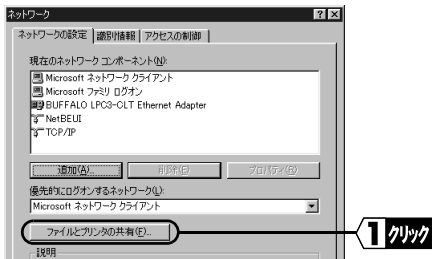
組み込まれているネットワークアダプタ () が複数の場合



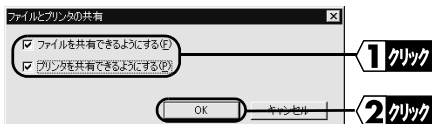
[TCP/IP] の項目が「TCP/IP->BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」と表示されますが、正常です。

Microsoft ネットワーク共有サービスの追加

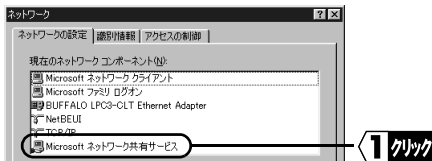
1 [ファイルとプリンタの共有] をクリックします。



2 [ファイルを共有できるようにする] および [プリンタを共有できるようにする] のチェックボックスをクリックして ON にし、[OK] をクリックします。



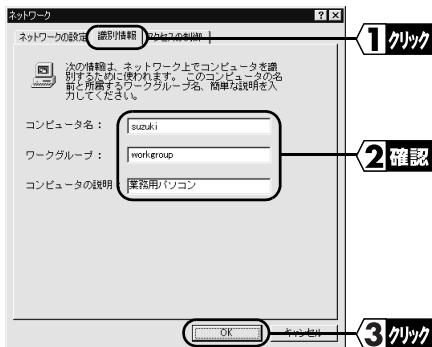
3 [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されます。



次へ 「コンピュータ名・ワークグループの確認」(P35) へ進みます。

コンピュータ名・ワークグループの確認

- 1 [識別情報] (Windows95 の場合は [ユーザー情報]) タブをクリックして、[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を確認し、[OK] をクリックします。



注意 「コンピュータ名」[ワークグループ]には、半角英数字を入力することを推奨します。一部の漢字やピリオド()などの特殊文字が含まれていると、ネットワークに接続できないことがあります。

メモ

- ・ [コンピュータ名] は、ネットワーク上に同じ名前のパソコンがないようにしてください。
- ・ [ワークグループ] は、ネットワーク管理者に相談の上、設定してください。どのような名前を設定したらよいか分からない場合は、ネットワークに接続するすべてのパソコンに同じ名前を設定してください。
また、大文字と小文字は違う文字として区別されます。
- ・ [コンピュータの説明] は、必要に応じて設定してください。

参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]の詳細説明については、「第6章用語集」の「WindowsMe/98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報)画面」(P63)を参照してください。

- 2 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

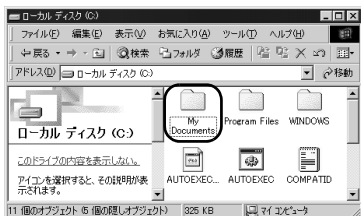
次へ 「パソコンの共有設定」(P36)へ進みます。

パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、WindowsMe で [マイドキュメント] を共有するときの手順を例に説明します。

1 デスクトップの [マイ コンピュータ] をダブルクリックします。

2 [My Documents] をマウスの右ボタンでクリックし、[共有] を選択します。



3 [共有する] のオプションボタンをクリックし、「共有名」「コメント」「アクセスの種類」「パスワード」を確認または入力し、[OK] をクリックします。



▶参照 「共有名」、「コメント」、「アクセスの種類」、「パスワード」の詳細説明については、「第6章用語集」の「WindowsMe/98の識別情報 (Windows95の場合にはユーザー情報) 画面」(P63)を参照してください。

1 クリック

2 確認

2 入力

3 クリック

4 [My Documents] のアイコンが画面のようになります。



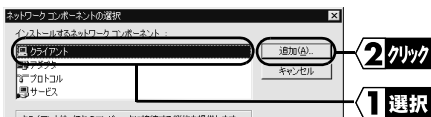
▶次へ 「他のパソコンとの接続」(P39)へ進みます。

Microsoft ネットワーククライアントの追加方法

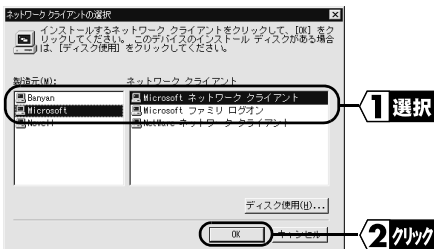
- 1 デスクトップの[マイ ネットワーク] [Windows98/95 の場合は [ネットワーク コンピュータ]) を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ] を選択します。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [クライアント] を選択し、[追加] をクリックします。



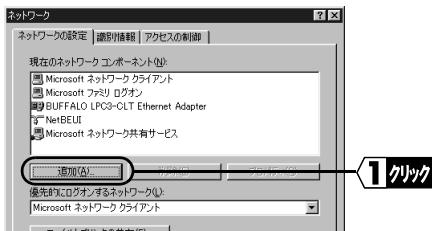
- 5 [製造元] の「Microsoft」、[ネットワーククライアント] の「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。
Microsoft ネットワーククライアントが追加され、手順 3 の画面に戻ります。



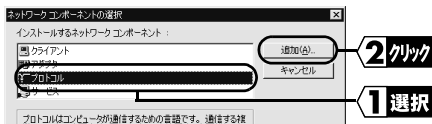
次へ 「Microsoft ネットワーククライアント、TCP/IP の確認」(P31) へ進みます。

TCP/IP の追加方法

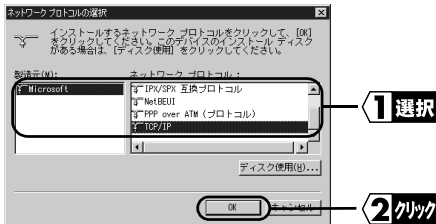
- 1 デスクトップの[マイ ネットワーク] (Windows98/95 の場合は[ネットワーク コンピュータ])を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ] を選択します。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。



- 5 [製造元] の「Microsoft」、[ネットワークプロトコル] の「TCP/IP」を選択し、[OK] をクリックします。
TCP/IP が追加され、手順 3 の画面に戻ります。



次へ 「Microsoft ネットワーククライアント、TCP/IP の確認」(P31) へ進みます。

他のパソコンとの接続

ネットワークへの接続が完了したら、接続したいパソコンと実際に接続してみましょう。ここではWindowsMe の場合を例に説明します。

- 1 デスクトップの [マイ ネットワーク] をダブルクリックします。
Windows98/95 の場合は [ネットワーク コンピュータ] をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
- 2 [ネットワーク全体] をダブルクリックします。



- 3 接続したいパソコンが属しているワークグループを、ダブルクリックします。



次頁へ続く

4 接続したいパソコンをダブルクリックします。



▶参照 接続したいパソコンが表示されないときは、「第5章 困ったときは」の「他のコンピュータが表示されない」(P54)を参照してください。

5 「パソコンの共有設定」(P36)で、設定されたフォルダが表示されます。接続したいフォルダをダブルクリックします。



6 フォルダの中身が表示され、アクセスが可能になります。




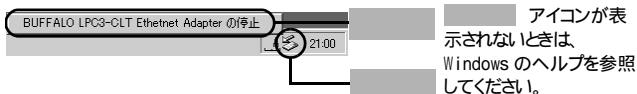
本製品を装着したパソコンから、LAN ネットワーク上のパソコンへの接続が完了しました。ネットワークを利用した快適な環境でパソコンをお使いください。

本製品の取り外し


Windowsの動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順に従ってください。
ここでは、WindowsMe の場合を例に説明します。

1 タスクトレイの取り外しアイコン  をクリックし、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter の停止」を選択します。

- ・ Windows95/98 (Second Edition を除く) での取り外しアイコンは  です。
- ・ アイコンをクリックしたときに表示されるメッセージは、Windows のバージョンによって異なります。



2 「'BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter' は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

 表示されるメッセージは、Windows のバージョンによって異なります。

3 本製品を取り外します。



MAC アドレスを確認するには

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、以下の手順で MAC アドレスの確認ができます。

- 1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。
- 2 「winipcfg」と入力し、[OK] をクリックします。
[IP 設定] が表示されます。
- 3 「BUFFALO LPC3-CLT」を選択します。MAC アドレスは、「アダプタ アドレス」に表示されています。



4

Windows2000 環境での設定

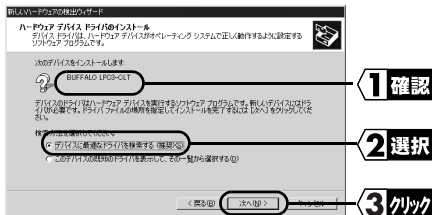
ご使用の環境が Windows2000 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定を行ってください。

ドライバのインストール手順

以下の手順で、本製品のインストールをおこなってください。

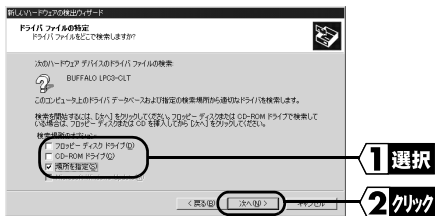
注意 ドライバのインストールを行う前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

- 1 Windows2000 を起動して、アドミニストレータ権限を持ったログイン名 (Administrator 等) でログインします。
- 2 本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。[次へ] をクリックします。
- 3 「BUFFALO LPC3-CLT」と表示されていることを確認して、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択して、[次へ] をクリックします。



次頁へ続く

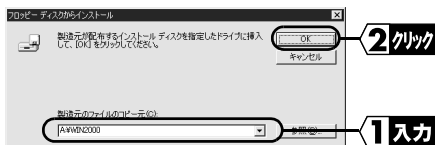
4 「検索場所のオプション」を以下のように設定して、[次へ] をクリックします。



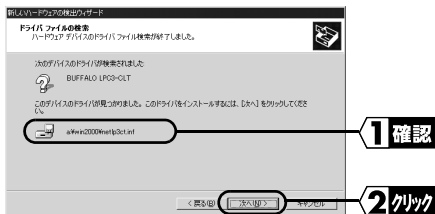
- フロッピードライブ :チェックしません
- CD-ROMドライブ :チェックしません
- 場所を指定 :チェックします

5 「LPC3-CLT Driver Disk」をフロッピードライブに挿入します。

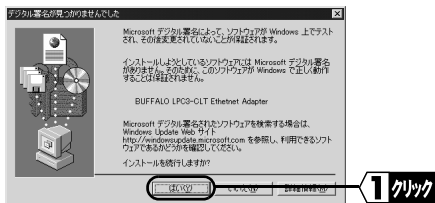
6 「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2000」を入力して、[OK] をクリックします。



7 「a:\¥Win2000¥net lp3ct.inf」が表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。



8 [はい]をクリックします。



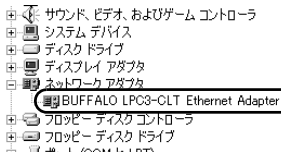
9 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので[完了]をクリックします。

次へ 「インストール後の確認」(P46)へ進みます。

インストール後の確認

インストール後は、以下の手順で正常にインストールされたことを確認してください。

- 1 デスクトップの [マイ コンピュータ] を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [管理] を選択します。
- 3 [デバイスマネージャ] をクリックします。
- 4 [ネットワークアダプタ] の下に「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」が表示されていることを確認します。
☒ **メモ** 表示されていない場合は、[ネットワーク アダプタ] をダブルクリックします。




以上で本製品のインストールは完了です。

次へ ネットワークに接続するための設定をします。

- ・ パソコン同士で通信を行う場合は、Windows2000 のマニュアルまたはヘルプを参照してください。
- ・ CATV/xDSL でインターネットに接続する場合の設定方法は、各プロバイダにお問い合わせください。

ドライバの削除

 以下の手順は正常にドライバのインストールができなかった場合のみおこなってください。


- 1 デスクトップの[マイ コンピュータ]を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [管理]を選択します。
- 3 [デバイス マネージャ]をクリックします。
- 4 [ネットワーク アダプタ]をダブルクリックします。
- 5 [BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter]をマウスの右ボタンでクリックし、「削除」を選択します。
- 6 「デバイス削除の確認」が表示されるので「OK」をクリックします。
次に、**¥WINDOWS¥INF** フォルダにコピーされた「**INF** ファイル」及び「**PNF** ファイル」を削除します。
- 7 [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エクスプローラ]を選択して、エクスプローラを起動します。
- 8 [ツール]-[フォルダオプション]を選択します。
- 9 [表示]をクリックします。
- 10 [すべてのファイルとフォルダを表示する]を選択します。
- 11 [登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックマークを外します。
- 12 [OK]をクリックします。
- 13 Windows2000 がインストールされたドライブの中の「WINNT」フォルダ - 「INF」フォルダの中にある「OEM?.INF」ファイル(「OEM.INF」, 「OEM1.INF」など「?」には数字が入ります)をダブルクリックして開き、LPC3-CLT という文字が入っているファイルを探します。

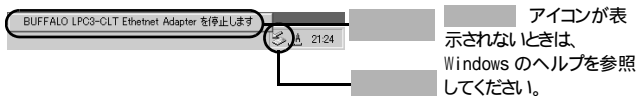
次頁へ続く

- 14 「LPC3-CLT」という文字が「OEM?.INF」に入っていたら、このファイルと「OEM?.PNF」(「?」は同じ数字)がLPC3-CLTのファイルです。
「OEM?.INF」と「OEM?.PNF」を削除してください。
以上でドライバの削除は完了です

本製品の取り外し

Windows2000 の動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

- 1 タスクトレイの取り外しアイコン  をクリックし、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter を停止します」を選択します。



- 2 「'BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter' は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
3 本製品を取り外します。

5

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

本製品がパソコンに認識されない

原因

本製品がパソコンの PC カードスロットに確実に差し込まれていない。

対策

本製品の向きを確認して、差し込み直してください。

原因

パソコンの PC カードスロットが故障している。

対策

- ・パソコンの PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いのかたは、もう一方のスロットに差し込んでください。
- ・他にパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンの PC カードスロットに差し込んで確認してください。

5

困ったときは

インストール画面が表示されない、 「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に! マークがついている (ドライバの削除と再インストール)

WindowsMe/98/95 環境で、本製品を装着後にパソコンを起動しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない。

または、デバイスマネージャを開くと、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に!マークがついている。

原因

ドライバのインストールに失敗している。

対策

次の手順に従って、ドライバを削除し、再度ドライバのインストールを行なってください。

▲注意 作業の前に本製品がPC カードスロットに確実に挿入されているか、確認してください。

- 1 デスクトップの [マイ コンピュータ] を、マウスの右ボタンでクリックします。
- 2 [プロパティ] を選択します。

- 3 [デバイスマネージャ] をクリックします。
[ネットワークアダプタ] 中の「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」
を選択し、[削除] をクリックします。



- ▶ [? その他のデバイス] 中に「BUFFALO LPC3-CLT」が表示されている場合は、「BUFFALO LPC3-CLT」を選択し、[削除] をクリックした後 [OK] をクリックします。



- 4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、[はい] をクリックします。

次頁へ続く

5

困ったときは

5 コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」が表示されている場合は、削除してください。

6 [OK] をクリックします。

メモ

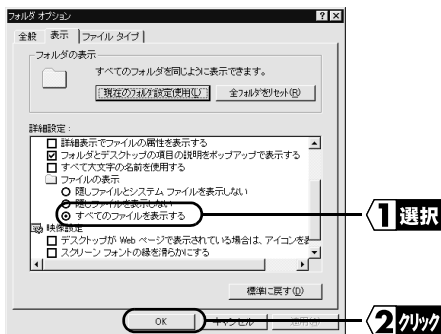
- ・「今すぐ再起動しますか？」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。
- ・ Windows95 の場合は、手順 13 へ進んでください。

7 デスクトップの [マイ コンピュータ] を、マウスの右ボタンでクリックします。

8 [エクスプローラ] を選択します。

9 [ツール] または [表示] - [フォルダオプション] を選択して、「表示」をクリックします。

10 「すべてのファイルを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。



11 Windows がインストールされたドライブ (通常は C ドライブ) 内の「Windows」フォルダ - 「INF」フォルダ - 「OTHER」フォルダを開きます。

12 「MELCO INC.NETLP3CT」ファイルを削除します。



13 Windows を終了し、パソコンの電源スイッチを OFF にします。

14 本製品を取り出します。

次へ 「PCカードドライバの確認」(P10)を参照して、PCカードドライバの確認を行い、「ドライバのインストール」(P16)を参照して、ドライバを再インストールしてください。

他のコンピュータが表示されない

「マイ ネットワーク」(または「ネットワーク コンピュータ」)をダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されない。また「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」にマークがついている。

原因

Windows を起動したときにパスワードを入力していない。
(ユーザー名 / パスワードの入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックしたり、<Esc> キーを押している。)

対策

Windows を起動したときに要求されるユーザー名 / パスワードの入力画面では、必ず入力して [OK] ボタンをクリックしてください。万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

原因

本製品のドライバのインストールに失敗している。

対策

ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

▶参照

WindowsMe/98/95 の場合：

「インストール後の確認」(P30)を参照してください。

Windows2000 の場合：

「インストール後の確認」(P46)を参照してください。

原因

ネットワークの設定が正常にできていない。

対策

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。

WindowsMe/98/95 の場合：

「パソコン同士で通信する場合の設定例」(P31)を参照してください。

原因

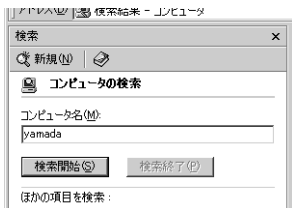
ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策

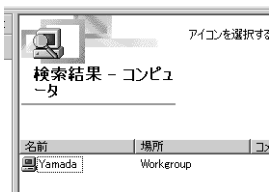
以下の手順でコンピュータの検索をしてください。

WindowsMe の場合

- 1 デスクトップにある [マイ ネットワーク] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューの [コンピュータの検索] を選択します。
- 2 接続先の [コンピュータ名] を入力し、[検索開始] をクリックします。



- 3 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、目的のコンピュータに接続してください。



Windows98/95 の場合

- 1 [スタート]-[検索]-[ほかのコンピュータ]を選択します。
- 2 「名前」に、接続先のコンピュータ名を入力して、[検索開始]をクリックします。



- 3 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、接続してください。



原因

ワークグループの設定が間違っている。

対策

ワークグループの設定を確認してください。

原因

ドライバのインストールに失敗している。

対策

「インストール画面が表示されない」、「BUFFALO LPC3-CLT Ethernet Adapter」に「マークがついている」(P50)の対策を行って、もう一度ドライバのインストールをやり直してください。

原因

- ・ストレートケーブルが LAN ボード側・ハブ側ともにしっかり接続されていない。
- ・ストレートケーブルが切断している。

対策

- ・「カチッ」というまで、しっかり接続してください。
- ・別のストレートケーブルで接続してください。
- ・ハブとケーブルに問題があるのかもしれませんが。他のパソコンで正常に LAN 接続しているハブとケーブルを使用してみてください。

Windows 終了時にパソコンが止まってしまう

本製品を取り付けるとWindows 終了時にパソコンが止まってしまうことがあります。本製品を取りつけてこのような現象が発生した場合は、お使いのパソコンの環境に応じて、以下の対策を行ってください。

Windows98 Second Edition 使用時の対策

対策

Windows98 Second Edition のアップデートモジュール (Windows98 Second Edition シャットダウン問題の修正) を使用してください。アップデートモジュールは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

対策

Windows を終了する前に、「MS-DOS プロンプト」を起動してコマンドを入力してください。

以下の手順で行ってください。

1. [スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト] の順に選択します。
2. MS-DOS プロンプトが起動したら、「NET USE * /DEL」と入力し <Enter> キーを押します。
3. 「コマンドは正常に完了しました」と表示されたら、MS-DOS プロンプトを終了します。
4. Windows を終了します。

▲注意 この設定は、Windows を終了するごとに行う必要があります。

Internet Explorer Ver.4.01 使用時の対策

対策

Internet Explorer Ver.4.01 のサービスパック 1 以降を使用してください。サービスパックは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

対策

下記を参考にして、IP アドレスを設定してください。

ネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合

「IP アドレスを自動的に取得」に設定します。



- ・ DHCP サーバーは、ネットワーク上のパソコンに IP アドレスを自動的に割り振るサーバーです。
- ・ Windows2000/NT サーバーやダイヤルアップルーターなどの、DHCP サーバー機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバー機能が動作している場合があります。DHCP サーバー機能が動作しているかどうかは、Windows2000/NT のマニュアルまたはダイヤルアップルーターのマニュアルを参照してください。または、メーカーにお問い合わせください。
- ・ ネットワーク上に WindowsMe/98/95 のパソコンしかない場合、DHCP サーバーは存在しません。

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

パソコンに設定する IP アドレスをネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

IP アドレスを下記のように設定します。

< 設定例 >

	IP アドレス	ネットマスク
パソコン A	192.168.0.1	(255.255.255.0)
パソコン B	192.168.0.2	(255.255.255.0)
...
パソコン X	192.168.0.254	(255.255.255.0)

6

用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

I/O ポートアドレス (Input/Output)

CPU と周辺機器との間には、情報をやりとりする出入り口があります。どの周辺装置がどの出入り口を使うかを区別するために、各装置に割り当てられる番号が I/O ポートアドレスです。

IRQ(割り込み要求 : Interrupt Request)

パソコンの周辺機器が要求する処理は全て CPU が行いますが、CPU はどの機器からいつ要求が来るかを予想できません。CPU が常に全ての機器を監視していると、処理時間より先監視時間のほうが長くなり、非効率的です。そこで、各周辺機器から、CPU に対して実行してほしいことが発生した場合に、IRQ の番号を使用して、現在 CPU が行っている処理に「割り込み」を「要求」します。CPU は、どの装置から要求が来たかを IRQ 番号より判断し処理を行います。割り込み要求の処理が終わると、CPU は通常の処理に戻ります。

LAN(Local Area Network)

「ラン」と発音する。1つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ~ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレスです。

MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。

ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行います。

Microsoft ネットワーククライアント

LAN で WindowsMe/98/95 などのサーバサービスを利用するためにクライアント側のパソコンにインストールするソフトウェアです。プロトコルには通常、TCP/IP または NetBEUI が使われます。特に、インターネットに接続する場合は、TCP/IP プロトコルを使用します。

NetBEUI プロトコル

小規模から中規模の LAN 用のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUI は、OSI プロトコルモデルのトランスポートおよびネットワーク層プロトコルに相当する。これを NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現される。WindowsMe/98/95 などで、サポートされています。

Peer to Peer 接続

パソコンが、LAN や WAN を介して互いに対等な関係で行う通信です。サーバ・クライアントシステムとは異なり、ネットワーク上のいずれのパソコンも他のユーザにその資源を利用可能にすることができます。

WindowsMe/98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ネットワークカードの入力』ダイアログボックスが表示されます。

- ・ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ・ユーザー名とパスワードは、WindowsMe/98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください(マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます)。

Windows Me/98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。



画面内の説明は、次の通りです。

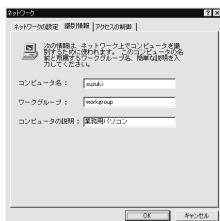
- 共有しない：** ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する：** ドライブを共有するときに選択します。
- 共有名：** 共有するドライブの名称を変更できます。
- コメント：** 「共有名」の補足説明を入力します。
- アクセスの種類：** 共有するドライブに対しての読み書きを許可します。
- 読み取り専用：** 共有するドライブを読み込み専用にします。
- フルアクセス：** 共有するドライブに読み書きを許可します。
- パスワードに依存：** パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード：** 「アクセスの種類」に対するパスワードです。
- 読み取り専用：** 読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
アクセス用
- フルアクセス用：** 読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

WindowsMe/98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面

表示される画面

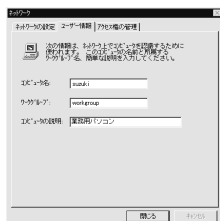
WindowsMe/98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



Windows95 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

コンピュータ名: ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ: ネットワーク上で、区別をするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明: 「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ]には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド (.) などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

クライアント

サービスの提供を受ける側のことです。サーバにある情報やサービスを利用することができます。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

リソース (システムリソース)

パソコンの各周辺装置 (マウス、キ-ボードなど) や、LAN ボード、LAN カードなどに割り当てられている IRQ、I/O ポートアドレスを総称した名称です。

7

仕様

本製品の仕様について説明します。

仕様

LAN インターフェイス	規格	IEEE802.3 準拠
	伝送速度	10Mbps(Half-duplex)
	伝送路 符号化方式	マンチェスターコーディング
	アクセス方式	CSMA/CD
ホスト インターフェイス		JEIDA4.2 PCMCIA2.1
メディアカプラ		RJ-45 モジュラジャック
リソース	I/O ポート アドレス	220, 240, 280, 2A0, 2C0, 300, 320, 340 のいずれか (出荷時設定: 300)
	割り込み	IRQ3, 4, 5, 6, 9, 10, 11, 12, 15 のいずれか (出荷時設定: IRQ5)
消費電流		45mA
電圧		5V
消費電力		225mW
動作環境	動作温度	0 ~ 55
	動作湿度	10 ~ 90%(但し、結露なきこと)
外形寸法		54.0mm(W) × 105.1mm(D) × 5.0mm(H) (突起部の高さ(9.3mm)を除く)

WindowsMe/98/95/2000 の場合、OS が自動的にリソースを割り振り、上記以外の値で動作する場合があります。

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>) を参照してください。

MEMO

保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアル No. が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録はかきに必要な事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方であれば受けられません。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要な事項をご記入の上、製品と一緒に送ってください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後 7 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先： 〒 457-8520 名古屋市南区柴田本通 4-15

株式会社メルコ 修理センター宛

TEL:052-619-1289

チェック項目：

返送先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]

平日昼間の連絡先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]

修理対象のメルコ製品名

弊社製品ハードウェア シリアルナンバー

弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー

具体的な症状 / エラーメッセージ

発生状況 [始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]

発生頻度 [必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]

コンピュータ [本体メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]

ハードディスク [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]

プリンタ [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]

その他周辺機器 [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]

OS (オペレーティング・システム) [ソフト名 / メーカー名 / バージョン]

アプリケーション / バージョン [症状に依存性のある場合は詳細も]

製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>



製品
サポート

インフォメーションセンター

〒 457-8520 名古屋市南区柴田本通 4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ネットワーク製品専用ダイヤル

< 東 京 > **03-5326-3754**

月 - 金 9:30 ~ 19:00 祝日を除く

土 / 祝 9:30 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00 年末年始と日曜日を除く

< 名古屋 > **052-619-1825**

月 - 金 9:30 ~ 17:00 祝日を除く

受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の情報は弊社ホームページでご確認下さい。

事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用 OS
- ・設定内容（スイッチ設定など）
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）